

# 連続体位変換式腹臥位装置 「コロンパ ver.1 ver.2」の開発

訓練科 杉浦 眞紀

小児科 長澤 哲郎、大越 優美

## <はじめに>

重症心身障害者にとって呼吸管理や緊張緩和のために腹臥位は重要であるが、ベッド上での腹臥位装置使用を余儀なくされる場合、介助者の負担は大きい。

障害の状況は個別性が高いため個々に多様なアプローチが求められる。

今回、2症例についてそれぞれの問題点に対応した腹臥位装置を開発したので報告する。

# <ベッド上腹臥位の共通の問題と対策>

支持面の急な変化に驚いて緊張亢進

→ 支持基底面が常に接するように

体重が重い場合介護者の負担大きい

→ 効率的で負担が少ない介助法

勢いをつける介助法で骨折の危険

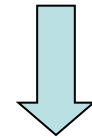
→ ゆっくりとした動きで体位変換

# ＜症例1の問題点と対策＞

48歳女性、レット症候群、体重28kg、喉頭気管分離術後、四肢に屈曲拘縮あり、緊張亢進で屈曲強まる。



四つ這い位での装置の壁越えが大変

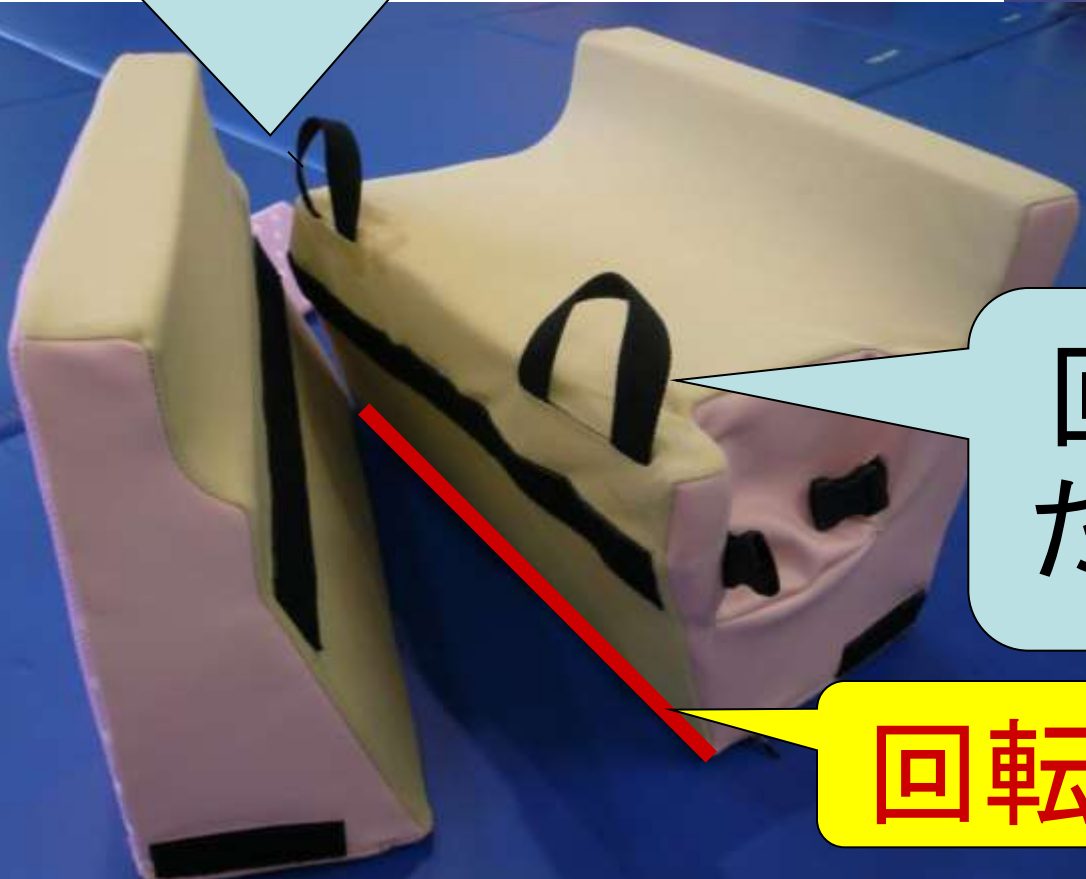


装置ごと体位変換で壁越えなし<sup>4</sup>



# 「コロンパver1」

装置を回転させる  
ため、**二分割**



回転させる  
ための**取手**

**回転の支点**

# <腹臥位姿勢変換の実際>

仰向けで装置をセットし、側臥位にする





介助者は**取手**をつかみ**支点**を中心に  
装置をゆっくり回転させる



# 利用者をうつぶせにする





# はずしていた装置の壁をつける



姿勢を整え、板を入れて安定させて排痰



柔らかいベッド面で装置を安定させる板

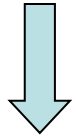
# < 症例2の問題点と対策 >

32歳女性、大脳皮質形成不全、

146cm, 35Kg, 股関節屈曲拘縮

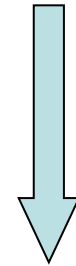
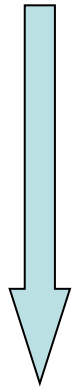
筋緊張低下

上肢の動きすばやい



手で体幹を支えきれない

安全確保困難



体幹支持シートで支える

保護筒に入れる

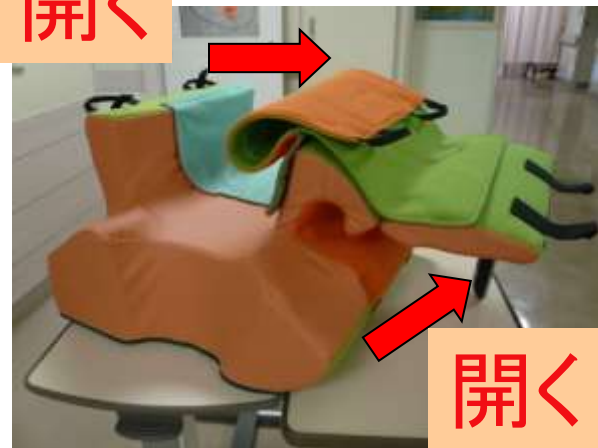
# 「コロナパー.2」

## 体幹支持シート



## 上肢保護筒

開く



開く





# ＜腹臥位姿勢変換の実際＞

側臥位から仰臥位にしながら**体幹支持シート**の上に利用者をのせる



# 上肢を**保護筒**に収めて蓋をしめる





体幹支持シートで側臥位に持ち上げ、  
そのままうつぶせにする



頭部と下肢を  
保持しながら



# 上肢を**保護筒**をから出して姿勢を整える



蓋を開ける

手



## <結果>

2例ともに体位変換時の

- ご本人の緊張亢進が減少した。
- 介助者の身体・精神的負担が減少した。
- 症例1では腹臥位時、上肢を挙上しやすくなったため姿勢を整えやすくなった。
- 症例2では上肢のすばやい動きを封じることができたため姿勢変換を安心してゆっくり行えた。

## < 考察 >

コロンパは姿勢変換中、常に支持基底面を提供できたため緊張亢進を防ぐことができたと思われた。

また、介助者の負担の軽減にも役だったことより複数の介護者によるケアの均質化と継続性に貢献できるものと思われた。

器具の使用に際してはていねいケアと細やかな観察が基本であると考えます。